

## 平成30年度 地方創生推進交付金事業 検証シート

事業名	食の宝庫かごしま 食と農の競争力強化事業
担当部局課名	商工観光部商工振興課

## 1. 事業概要等

事業を企画した目的及び事業の概要	【目的】 空港や高速道路、主要幹線道路、鉄道網など国内外への流通ルートが確保された地理的優位性ととも、明治維新150周年や大河ドラマ等、旬を迎えた観光素材である「霧島の食」を国内外にPRすることにより、PR機会・効果の拡大し、新たな市場開拓及び販路拡大につなげることで、市内中小零細企業の経営基盤の強化を図る。		
	【概要】 国内外で開催される各種展示会・商談会への出展、参加に要する費用を一部補助する。 (補助率等) 出展経費の1/2、上限20万円、対象経費) 出展ブース料、旅費、宿泊費、広報物製作費等		
交付額	100,000 円	交付対象事業費	200,000 円
事業始期年月	平成30年4月1日	事業終期年月	平成31年3月31日
霧島市ふるさと創生総合戦略との関係性	基本目標 I まちを元気にする、人を豊かにする産業づくり		
	関連施策 I -②「強い」農林水産業の育成「稼ぐ」農林水産業の創造		

## 2. 本事業における重要業績評価指標 (KPI)

設定した目標値の根拠	国内外で開催される展示会・商談会等への出展は、今後新たな顧客を獲得し経営安定を目指す中小零細企業の指標となることから適している。				
	指標	達成状況	H29基準値	H30実績値	目標値
KPI①	本事業による農林水産物、加工食品等の商談成立件数	達成	—	5件	2件
KPI②	本事業による販売促進活動件数	未達成	—	1件	2件

## 3. 本事業の地方創生への効果

事業効果
地方創生に効果があった

## 【凡例：選択肢】

① 地方創生に非常に効果的であった	例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
② 地方創生に相当程度効果があった	例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③ 地方創生に効果があった	例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④ 地方創生に対して効果がなかった	例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合

## 4. 実績値を踏まえた今後の事業展開の方針

今後の事業展開の方針	対象事業が総合戦略の推進に及ぼした影響及び今後の事業展開方針の理由
事業の終了	平成28年度から3か年で、市内食品関連事業者20社が商談会等に出展し、23社と商談成立に至ったほか、今後69社と成約見込みとなるなど、本市の食品関連産業の育成及び企業経営基盤の強化につながった。また県や金融機関と一体となって販路拡大の取組を支援したことにより、自ら積極的に市場開拓に取り組む事業者が増えており、今後は霧島製品のブランド力向上や農業の「稼ぐ力」向上に注力していく。

## 【凡例：選択肢】

① 事業の継続 (計画通りに事業を継続する)
② 事業の発展 (事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる)
③ 事業の改善 (事業の効果が不十分であったことから見直し (改善) を行う (または、行った) )
④ 事業の中止 (継続的な事業実施を予定していたが中止する (または、した) )
⑤ 事業の終了 (当初予定通り事業を終了する (または、した) )